

## 令和6年度 第1回市民協働推進委員会 議事概要

- 1 日時 令和6年7月10日（水） 午後6時から午後7時30分
- 2 場所 豊川市役所 本34会議室
- 3 出席者 会長 鈴木 誠・・・愛知大学地域政策学部学部長  
副会長 神谷 典江・・・(特非)穂の国まちづくりネットワーク  
代表理事  
委員 乙部 法行・・・豊川市連区長会代表  
委員 小栗 慎平・・・豊川高校インターアクトクラブ顧問  
委員 豊田 恵子・・・(特非)とよかわ子育てネット代表理事  
委員 加藤 大暉・・・一般公募市民  
委員 佐原 圭子・・・豊川商工会議所事務局次長  
委員 中西 成人・・・豊川市市民部長  
委員 加藤 悦子・・・豊川市国際交流協会常務理事  
委員 小川 友和・・・豊川市社会福祉協議会地域福祉課長補佐
- 4 事務局 市民部次長、市民協働国際課長、課長補佐、係長、専門員、係員
- 5 傍聴者 0名
- 6 議事概要
  - (1) あいさつ
  - (2) 委員の委嘱
  - (3) 会長及び副会長の選出  
会長・・・鈴木委員  
副会長・・・会長が神谷委員を指名
  - (4) 議題  
「とよかわ市民協働推進計画」における令和5年度実施施策の評価

### ■令和5年度とよかわ市民協働推進計画事業実施報告書（資料2）及び豊川市市民協働推進計画目標指標実績報告書（資料3）の資料の見方及び評価の考え方に係る説明に対する質疑

- とよかわ市民協働推進計画では、「地域と行政がしっかりとささえているまち」の目標を実現するため、4つの基本方針を定め、9つの実施施策、45事業（再掲4事業を含む）を展開しており、計画全体の指標1つと実施施策ごとの指標14の併せて15の目標指標を定めている。評価の方法は、実施施策ごとに目標達成度や効果などを客観的に評価して、9つの実施施策ごとに5段階で評価点をつけて欲しい。【事務局】
- 評価書の「進展したこと」の欄には、前年度の事業実績と比較して良くなったと思われる点を記入すれば良いのか。【委員】

→令和4年度の事業実績報告書の内容を参考にして、令和5年度に進展したと思う点があれば記入していただきたい。【事務局】

→評価書の「進展したこと」の欄には事業の実績で良かったと思われる点を記入し、「残された課題」の欄には批判した内容を記入するのではなく、「このようにしていくと もっと良くなると思う。」といった意見を記載していただくことを市は求めていると思う。事業内容を充実させるために委員の皆さんのお知恵をいただけると、今回の評価が実りあるものになると思う。【副会長】

#### ■令和5年度とよかわ市民協働推進計画事業実施報告書（資料2）の説明に対する質疑

- 事業実績報告書の5ページ、基本方針2実施施策1のNo.12 挙げられている、健康づくりのために継続的に支援可能なボランティアの養成を目的とした健康づくり推進員養成講座の実績が、前年比が前年度よりも評価が下がっているが、豊川市では若者ボランティアが活躍していると思う。市民協働国際課が所管している若者ボランティア体験講座では、ボランティアを経験した後に、必ず振り返りを行っており、一人でも多く継続してボランティアに参加してくれる若者が増えると良いと思う。

また、若者ボランティア体験講座で、8月24日に開催予定の夏の輝まつりのボランティアを募集したところ、多くの若者が参加を希望していたことから、若者が活躍してくれるのではないかと考えており、商工観光課が来年実績としてあげてくるのではないかと。リレーマラソンでも若者ボランティアが活躍していたので、これらのことを踏まえて評価していただくと良いと思う。【副会長】

- 豊川市では、町内会等の活動において電子回覧板「結ネット」の本格運用が開始されているが、「結ネット」導入町内会等が開催するイベント等において、スマホの使い方が不慣れな高齢の方に対し、豊川高校の生徒さん達が若者ボランティアとして教えてくれる。協働推進のこともあるが、豊川市では町内会活動における電子回覧板「結ネット」の活用していることで、様々な所から視察に来ていたとも聞いており、かなりのシティセールスになっている。このことを覚えておいていただくと、評価の中で参考になると思う。

また、コミュニティの創設や構築が報告書の中で触れられているが、豊川市では、町内会加入率が7割を下回っている。市民協働国際課が良い地域コミュニティの構築に取り組んでいるが、市民に対しどのように啓発していったらよいか、委員の皆さんから解決策につながるような意見があると嬉しい。豊川市の良いところは伸ばし、駄目だと思うところは委員の皆さんのお知恵を今回の評価で頂けたらと思う。【副会長】

- 17ページNo.29の道路河川管理課が所管する事業の評価がBとなっているが、改善点の欄に「制度の周知や知識の育成等が必要である。」とある。知識の育成の部分について、どういった知識を誰にどのように育成したいということなのか教えていただきたい。【委員】

- アダプトプログラムが低迷しているので、アダプトプログラムを知らない人がいるという意味かと思った。【副会長】
- 同じ質問になるが、改善点の知識の育成に係る点については、アダプトプログラムを知らないのか、美化活動ができていないのか、どちらのことに対するものなのか疑問に思った。私も河川の近くに住んでいるが、昔と比べてごみが落ちていない。これは、みんなが気を付けてごみを残さないようにしているということ。アダプトプログラムを知らなくても河川管理が行えているので、この事業に対する評価をどうしていいか疑問に思った。【委員】
- 改善点に対する具体的な内容について把握していない。担当課に知識の育成に係る点について確認する。【事務局】
- 23 ページNo.38 の町内会アドバイザー派遣事業は非常に良い事業と考えるが、若い世代が参加する町内会活動について、具体的にこうしたらいい、このようなことをしたといった例はあるか。【委員】
- このアドバイザー事業のアドバイザーとは鈴木会長のことで、ゼミの学生さんにも参加していただいた。学生さんにはイベントにも参加していただくなど一緒になって若者が参加するイベントを組み立てていった。チラシの作成から市民館祭りにおけるボードゲームの実施など多くの知恵をいただいた。【事務局】
- アドバイザー派遣事業は、鈴木会長がアドバイザーであったとのことだが、参加した学生からの声や、この事業を通じて感じたことをお聞きしたい。【副会長】
- この事業は、御油連区、麻生田連区、高見町内会・牛久保 11 区を対象に2か年にわたって実施したものである。初年度に、これらの団体の皆さんが地元の若者とどういった接点を持っているのか、また地元の若者が地元の活動をどのように見ているのかといったことを正確に把握しておこうということで、市内の高校生の皆さんにアンケート調査を行った。また、アンケート結果をもとに、若い世代が連区・町内会とどのような関わり方ができるのか、したいのかといったことを分析した。その結果を踏まえ、2年目は、地元の話し合いの場に学生も参加し、イベントの開催につなげていった。豊川市には大学はないが、非常に歴史のある高校も多くあり、1年目のアンケート結果により若い世代が地元の活動をよく見ていることや高校生がボランティアとして地元の活動に参加していくことの重要性と地域への関わり方等が分かったので、非常に充実した内容の事業であったと実感している。【会長】
- アンケートを通じて高校生が町内会等の活動をどのように見ているか調査したとのことだが、小栗委員はこのことについて思うところはあるか。【副会長】
- 豊川高校の生徒がボランティアとして「結ネット」の登録方法を説明に行くと、高齢者の方がしっかりと話を聞いてくださるとのこと。もう少し頻繁に説明会等を行えば電子回覧板も普及すると思う。色んな学校で高校生ボランティアの活動が普及し、町内会活動等への参加がもう少し浸透するとよいと思う。【委員】

→「結ネット」の導入促進における若者のボランティア参加の例を踏まえてお話しただいたが、私が加入している町内会でも、若者ボランティアが来てくれると、高齢者の方が本当にうれしそうにしている。先ほどの質問に対する回答としては、こんな感じになるかどうか。【副会長】

→昔から子どもの元気が地域のカだと考えている。そうした中で、子ども食堂に関しては高校生や大学生がこちらからお願いしなくて参加してくれてる輪が広がっている。衰退している町内会活動をどうしたら良いかと色々なことを考えている中で、中学生や高校生の力を借りてどんな町にしたいか、子どもたちや今後子どもを産みたい、育てたいと思える街にしていくためには、どうしたら良いか徹底的に考えていかないと、まちの将来がないんだろうなと思っている。若い世代を活用したみんなが豊川市に住んで良かったと思えるまちづくりをするための良いヒントになった。【委員】

→補足説明となるが、今回のアドバイザー派遣事業では、御油連区と麻生田連区と高見町内会・牛久保11区の3つの団体に参加していただいた。御油連区は、80周年記念で開催した御油の松並木のお祭りに、豊川高校の生徒さんがダンスで参加するなど多くの若者が参加したお祭りとなった。駐車場が足りなくなるほどの人が集まり大盛況であった。麻生田連区の市民館祭りについても、普段なかなか地区市民館に行かない若者からすごく楽しめたという声をいただいたイベントとなった。高見町内会・牛久保11区については、隣接する小学校区が違う二つの町内会が一緒になって小学校の区域関係なしに参加できる市民館祭りと盆踊りを開催した。盆踊りでは、子どもは夕方6時まで、大人は夜8時まで参加できるなどの工夫をし、子どもが参加しやすくなるように配慮していた。いずれのイベントも、鈴木会長や学生のアドバイスを参考にしながら町内会等で工夫をしたことで、多くの若者が参加した良いイベントになったと認識している。【事務局】

・子ども食堂は色々な企業が協賛してくださって成り立っているが、協働事業の中にはどこにも入ってこないのか。今までの評価の中にも入っていなかった。【副会長】

→子ども食堂は、子育て支援課が中心となって携わっていると思われるが、協働事業としての認識がないのかもしれない。【事務局】

→子ども食堂は、かなりのペースで増えているが、子育て支援課が財政的支援をしていたり、企業が入り込んでいたり、寄付があったりするなど協働の形といえる。市職員が協働事業について洗い出しの方法を知らないのかもしれないので、市民協働国際課が舵をとることで、本計画の事業内容が、これまで以上に実りあるものになるかもしれないと考える。【会長】

→子ども食堂のほかにも対象となる事業があると思われる。市民協働国際課としても市民協働に対する職員の意識を啓発していくように努める。【事務局】

→今回の評価は、今回提出されたものに対して行い、今後に向けては、改めて対象事業の洗い出しを行っていただくことで、実りある評価になると考える。【副会長】

- ・商工会議所では、紙媒体によりメセナを発行して情報発信をしている。紙媒体による情報提供の充実という面では、今後ホームページや SNS などの活用が進み、紙媒体は衰退していくことも考えられるが、電子データの場合、掲載内容の見出しをサラッと目を通すだけになってしまう傾向もあると思われる。紙媒体の利点も生かした情報発信に御理解いただければと思う。【委員】
- 高齢者は、紙媒体の方が慣れているといった面もある。商工会議所が、試験的に企業に対してメセナを電子データで送ることをしたと思うが、結果はどうであったか。【副会長】
- 会員数 2,300 の企業のうち、約 500 の企業に電子データを送っている。【委員】

### ■とよかわ市民協働推進計画目標指標実績報告書（資料3）の内容説明に対する質疑

- ・資料3において、実施施策2の目標指標の2つ目「企業などが発行する情報誌への市民活動情報の掲載件数（件）」について、目標値が8年間の合計の目標値が50であるのに対し、2023年だけの実績が44件となっている。この結果を見ると目標値が低いととらえることもできるが、その点についてはどうか。【委員】
- 目標値については、8年間の合計が50であるのに対し、2023年だけの実績値が44件であることを見た場合には、目標値が低いと思われることは理解できる。計画の中間見直しで目標値を変える等の措置があっても良かったかもしれない。この目標値を設定した当初は、フリーペーパーがほとんど発行されていない時代で、2016年の実績値1を踏まえれば、目標値の8年間の合計値50は、決して低い目標値でなかったといえる。また、2023年の実績は、市民活動の情報誌への掲載に取り組んでいるともいえる。現在は、「はなまる」や「羅針盤」などのフリーペーパーも発行されており、情報を掲載しやすい環境が整ってきており、事務局としては良かったと感じている。【事務局】
- 目標設定当初は、意識調査を実施しても多くの企業から回答が返ってこない状況であった。そうした中で、市長が掲げるマニフェストや総合計画でも協働を4本柱の1つにして、行政や中間支援団体が企業に対して協働を働きかけてきた結果、協働が理解される時代になってきた。今後は、目標値の見直しを図っていく必要があると思われる。また、中間見直しなどで目標値を見直すことも考えられたが、現行の計画期間中は、協働に対する理解について頑張っけて啓発していくことが重要であったことを御理解いただければと思う。【副会長】
- ネットによる情報発信については、国際交流協会においても、この数年間で職員の意識が大きく変わったと感じている。そうした中で、今後は、業界誌への掲載にも取り組んでいこうと考えている。2、3年前までは、「新聞に掲載してもらえないかな」ぐらいの意識しかなかったので、職員の意識も飛躍的に変わってきていることを考えると、ただ今の説明はよく理解できる。【委員】

- ・私は、岐阜県高山市で結ネットを利用しているが、先ほど副会長がおっしゃっていたとおり、豊川市の町内会等活動における結ネット活用は、シティセールスになっていると思う。色んな自治体の政策にかかわる中で、「豊川市の結ネットを参考にしました。」といった声を多く聞いてきた。結ネットが市民に浸透して、紙による回覧版の代わりとして情報共有など地域活動に効果的に活用されることは本当に良いことだと思う。

そのことに関連して、基本方針1の市民活動に関する情報収集・提供の10番の実績に愛知大学生のとの調査・研究とあるが、これはどういった内容であるか内容か。

**【会長】**

→この事業は、本委員会の加藤（大）委員が中心となって、結ネットの使い方をYouTubeにアップできるように取り組んでくれている内容である。**【事務局】**

→結ネットは地区市民館の予約等の機能など様々な機能もあるので、地域コミュニティの活性化に有効だと思うので、広まると良いと思う。**【副会長】**

**(5) その他**

**【事務局】**

- ・第2回委員会では、令和5年度の協働事業に係る委員の皆様の評価内容をし、最終的な評価結果を決定する。また、令和6年度に予定している市民協働推進計画の改定に向けた行う市民意識調査の内容について御審議いただく。市民意識調査は、市民、企業、ボランティア・市民活動団体を対象に10月頃実施する予定。

次回は8月19日（月）午後6時から、プリア視聴覚室で開催予定。開催通知は後日送付する。